

ふちゅう歴史散歩

国名「備後」の誕生

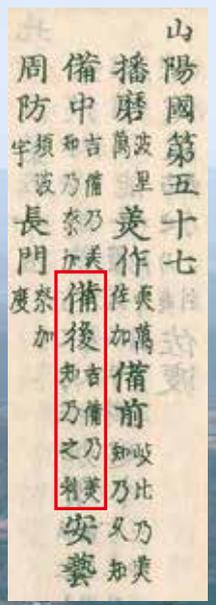
Vol.111

現在、私たちは「備後」を「びんご」と読んでいますが、平安時代の漢語辞書『倭名類聚抄』は訓を資料1の通り「吉備乃美知乃之利」としています。

備後国は、吉備と呼ばれた地域（現在の広島県東部と岡山県全域）が分割されて成立した国で、天武天皇12～14年（683～685）の国境画定事業で成立したとす

る見解が有力ですが、吉備関連の木簡から、この段階の国名表記は「吉備道後」と考えられ、『倭名類聚抄』の訓はこれに由来すると思われる。

しかし、こののち表記は「備後」に変わります。ここで注目されるのが、『続日本紀』大宝元年（701）6月条と慶雲元年（704）4月条の国印に関する記事です。



国印とは、律令制下の国が持つ印章のことで、資料2で確認できるように、「〇〇国印」のようになります。この国印を含む印章制度は、大宝律令制定時に導入されたもので、律令の文書行政に必要なものでした。

国名表記の変更は、本格的な律令行政の開始と連動するもので、吉備地域で言えば、大宝律令制定時に吉備を冠した国名から吉備を省略した国名（備前・備中・備後）に変更されたと考えられます。

資料1 備後の訓『倭名類聚抄』請求記号：WA 7-102
資料2 備後国印『博愛堂集古印譜』請求記号：本別9-12
※いずれも国立国会図書館デジタルコレクションより。

—市民レポーターが府中の魅力を投稿します—

ふちゅう Sai 発見！

高校生編 その68



投稿者（文と写真）
府中東高校2年
下江 颯太

休校中の生活を振り返って

私はこの長い休校中は、課題やゲームなどをして過ごしています。その他にも親も休みが多くなったので、家事や飼っているペットの家を掃除したりして過ごしています。今回Google classroomを使ってみて、学校から遠く離れていても健康観察をすぐに行えてとても使いやすかったです。

そして、休校が明けたら、延長してしまったイベントで写真部として精一杯活動して、学校生活でも課題だけでは詳しく分からない

問題を先生に積極的に質問して理解できるようにしたいです。そして、休校中外出する機会があまりないため、みんなで外食に行きたいです。



ナマズの「ナマズン」



ネコの「トラ」

府中市RCCラジオ番組「府中に夢中！」
毎週月曜日16:30～16:45（そのうちの5分間）RCCラジオ（1530kHz）

今月の放送日 7月6日(月)・13日(月)・20日(月)・27日(月)

府中市のマチ・ヒト・モノに注目し、聞いて楽しく、府中市を感じられる内容をお届けします。

2年目に突入！

ラジオでも聴ける！

公式SNS facebook

スマホアプリ radiko (ラジオ)

府中市メール配信サービス

